

宮崎県・島根県で野鳥の糞便から 低病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されました！

概要

12月10日に宮崎県宮崎市で、12月11日に島根県安来市で採取された野鳥の糞便から
H5N3亜型の低病原性鳥インフルエンザ(LPAI)ウイルスが確認されました。

(野鳥でのLPAI確認は今シーズン3、4例目です。)

国内で野鳥の糞便からのLPAI確認が相次いでいます。大陸から飛来する渡り鳥が国内に鳥インフルエンザウイルスを持ち込み、野鳥等を介して養鶏場にウイルスを伝播することが危惧されます。養鶏農家の皆様は、ウイルス侵入防止のため引き続き飼養衛生管理基準の遵守をお願いします！

家さんと野鳥等との接触を防ぐために大切なポイント



防鳥ネットの整備・点検等により、野鳥等の鶏舎への侵入防止を徹底する。
鶏舎周囲に穀物類等のエサや生ゴミ等の野生動物を誘引するものを置かず、清潔を保つ。
鶏舎周辺への石灰散布も、野生動物の忌避効果が期待できます。

鶏の急な死亡率の増加など、異常がみられる場合はすぐに家畜保健衛生所までご連絡下さい。